

病害動物学分野

論文

A 欧文

A-a

- 1 . Vulu FZ, Futami K, Sunahara T, Mampuya P, Bobanga TL, Ngoyi DM, Minakawa N: Geographic expansion of the introduced Aedes albopictus and other native Aedes species in the Democratic Republic of the Congo. *Parasites & Vectors* 17(1): 35,2024. doi: 10.1186/s13071-024-06137-4.
- 2 . Yamashita S, Uruma K, Yang C, Higa Y, Minakawa N, Cuamba N & Futami K: The origin and insecticide resistance of Aedes albopictus mosquitoes established in southern Mozambique. *Parasites & Vectors* 17(1): 292,2024. doi: 10.1186/s13071-024-06375-6.
- 3 . Yang C, Futami K, Nihei N, Fujita R, Ogino K, Hirabayashi K, Yonejima M, Otsuka Y, Nakamura S, Taira K, Owhashi M, Motoki M, Hashimoto T, Minagawa K, Kasai S, Higa Y: Tiger prowling: Distribution modelling for northward-expanding Aedes albopictus (Diptera: Culicidae) in Japan. *PLoS One* 19(5): e0303137,2024. doi: 10.1371/journal.pone.0303137.
- 4 . Futami K, Sunahara T, Tasaki S, Tsuda Y, Higa Y, Kim KS: First detection of avian malaria parasite DNA from mosquitoes collected in Nagasaki City, Japan. *Medical Entomology and Zoology* 75(3): 153-161,2024.
- 5 . Osawa S, Jo TS, Nakamura R, Futami K, Itayama T, Chadeka EA, Ngetich B, Nagi S, Kikuchi M, Njenga SM, Ouma C, Sonye GO, Hamano S, Minamoto T: Methodological assessment for efficient collection of Schistosoma mansoni environmental DNA and improved schistosomiasis surveillance in tropical wetlands. *Acta Tropica* 260: DOI: 10.1016/j.actatropica.2024.107402,2024. doi: 10.1016/j.actatropica.2024.107402.
- 6 . Pichler V, Itokawa K, Caputo B, De Marco CM, Serini P, Bellini R, Veronesi R, De Liberato C, Romiti F, Arnoldi D, Rizzoli A, Lia RP, Otranto D, Michaelakis A, Bisio M, Minakawa N, Kasai S & Della Torre A. : Unbiased sequence analysis of vgsc gene reveals circulation of novel and known knock-down resistance mutations in Culex pipiens, challenging vector control measures. *Journal of Pest Science* : s10340-024-01818-6,2024. doi: 10.1007/s10340-024-01818-6.

B 邦文

B-a

- 1 . 川田 均 : 殺虫剤抵抗性疾患媒介蚊に対する新しい防除法の試み. *環境管理技術* 42(6): 16-29, 2024.

学会発表数

A-a	A-b		B-a	B-b	
	シンポジウム	学会		シンポジウム	学会
0	0	3	0	5	8

社会活動

氏名・職	委員会等名	関係機関名
皆川 昇・教授	運営委員	日本衛生動物学会・南日本支部
皆川 昇・教授	日本ICIPE協会委員	日本衛生動物学会
皆川 昇・教授	評議委員	日本熱帯医学会
川田 均・客員研究員	殺虫剤研究班委員・編集委員	日本衛生動物学会
川田 均・客員研究員	理事・評議員・編集委員長	日本環境動物昆虫学会
川田 均・客員研究員	編集委員	日本ペストロジー学会
川田 均・客員研究員	Japanese Regional Director	The Asian Society for Vector Ecology and Mosquito Control
川田 均・客員研究員	ISO TC38/WG29 Convenor "Textiles-Anti-mosquito performance test method - Contact repellency test method using the attractive blood-feeding apparatus" convenor (国際標準化機構 第38技術委員会 第29作業部会 議長)	国際標準化機構 (ISO)

砂原俊彦・助教	運営委員	日本衛生動物学会・南日本支部
二見恭子・助教	幹事・編集委員・分類学研修実行委員会・日本ICIPPE協会委員・所務会計常任幹事	日本衛生動物学会
二見恭子・助教	運営委員	日本衛生動物学会・南日本支部

競争的研究資金獲得状況（共同研究を含む）

氏名・職	資金提供元/共同研究先	代表・分担	研究題目
皆川 昇・教授	日本学術振興会	分担	国際共同研究加速基金（国際共同研究強化（B））熱帯アフリカのマラリア撲滅に向けた無症候性感染伝播へのシステム生物学的アプローチ
砂原俊彦・助教	日本学術振興会	分担	国際共同研究加速基金（国際共同研究強化（B））熱帯アフリカのマラリア撲滅に向けた無症候性感染伝播へのシステム生物学的アプローチ
砂原俊彦・助教	厚生労働省	分担	厚生労働行政推進調査事業費補助金（新興・再興感染症及び予防接種対策推進研究事業 感染症媒介節足動物のフィールド調査手法及び次世代シークエンサーを用いたウイルス探索手法の確立のための研究）
皆川 昇・教授	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構	分担	医療分野国際科学技術共同研究開発推進事業 マラリアのない社会の持続を目指したコミュニティ主導型統合的戦略のための分野融合研究プロジェクト
皆川 昇・教授	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構	分担	新興・再興感染症研究基盤創成事業（海外拠点研究領域）ベトナムにおける新興・再興感染症研究推進プロジェクト
川田 均・特任研究員	日本学術振興会	分担	基盤研究（C）疾病媒介蚊のピレスロイド抵抗性に関するNa+チャネル変異の新規解析システム構築
皆川 昇・教授	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構	分担	ワクチン開発のための世界トップレベル研究開発拠点の形成事業 ワクチン開発のための世界トップレベル研究開発拠点群長崎シナジーキャンパス
二見恭子・助教	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構	分担	新興・再興感染症に対する革新的医薬品等開発推進研究事業 地球規模課題対応国際科学技術協力プログラム 感染症を媒介する節足動物に関する研究
二見恭子・助教/皆川昇・教授	長崎大学熱帯医学研究所	分担	熱帯医学研究拠点一般共同研究 コンゴ民主共和国にて採集された殺虫剤抵抗性蚊に対するマイクロアレイを用いた遺伝子発現の解析
皆川 昇・教授	住友化学株式会社		殺虫剤デリバリー技術の性能評価及び評価系の構築
皆川 昇・教授	アース製薬株式会社		蚊取り剤あるいは蚊よけ剤の開発研究

その他

非常勤講師

氏名・職	職（担当科目）	関係機関名
皆川 昇・教授	非常勤講師（原虫寄生虫学）	大阪公立大学大学院医学研究科
皆川 昇・教授	招聘上席研究員	国立研究開発法人海洋研究開発機構 横浜研究所

新聞等に掲載された活動

氏名・職	活動題目	掲載紙誌等	掲載年月日	活動内容の概要と社会との関連
二見恭子・助教	気温による蚊の行動の変化について	クローズアップ現代	45440	国立感染症研究所の葛西先生からの紹介。病害動物学分野でどのような研究をしているのか、現在のデング熱流行についてどのような原因が考えられるか、日本にデング熱の流行はありますか、などの質問に対して回答。
川田 均・客員研究員	なぜ秋も蚊に気を付けないといけないのか、(気温、越冬などが原因?)	「シリタカ！」KBC 九州朝日放送 (KBC公式 Youtube)	45562	<ul style="list-style-type: none"> ・今年の猛暑の影響 ・蚊の生体や刺されないための予防 ⇒刺されにくい服の色 ⇒汗つかきな人や体温が高い子ども? ⇒血液型は関係ある? ⇒足が臭いと刺されやすい? ・なぜ秋も蚊が発生するのか(気温の関係) ・蚊が発生する時期 ・猛暑の影響(11月ごろまで発生する可能性あり?) <p>以上の問に対応した。</p>
砂原俊彦・助教	デング熱に関する特集記事	日刊ゲンダイ	45640	海外旅行者に対するデング熱への注意喚起について蚊に刺されないための服装や虫よけの活用を推奨。また「なぜ世界的にデング熱が急増しているのか」の問については森田先生ご対応。